

ふくしま中通り地域 ユニバーサルデザインニュース

UNIVERSAL DESIGN NEWS



2008.1.21

vol. 04

ふくしま型UDネットワーク形成促進事業

事業者：福島県

発行：NPO ふくしまユニバーサルデザイン

〒963-8001 郡山市大町1-3-13

アドミラルビル2階 (株)プロダクト・ワン内

TEL 024-938-6102

FAX 024-927-0016

URL <http://www.f-ud.jp>

E-mail fudml@f-ud.jp

ふくしま型UDネットワーク形成促進事業レポート

UDステップアップセミナー開催報告

昨年12月2日、郡山市労働福祉会館にてUDのスキル向上を図るためのステップアップセミナーが、パートナー養成講座参加者を中心とした約30名の参加のもと開催されました。

第一部 「学生とのUD活動で見えてきたこと」

木村信綱氏（福島県内私立大学教員）



木村講師からは「学生との活動のなかで、物からではなく、学生自身が考えるニーズからUDを考えてもらい、主催する『エクリアルクラブ』の基礎になった」との、新鮮な視点を聞く事ができ、卒業生が就職してから、グローバルなUDの視点を持つことにより仕事に役立っている等、教育の現場からお話をいただきました。

第二部 「UDのものづくり実践編」

岩田 桂氏（岩田事務所・スローフードにいがた）

岩田講師からは在住の新潟でのUDを基点とした、産業活性化や街づくりの事例やヒント等、実践で培った貴重なノウハウを講演いただきました。



第三部 パネルディスカッション「UDの実践に向けて」

パネラー／木村信綱氏・岩田桂氏

コーディネーター／佐々木善壽（NPO ふくしまユニバーサルデザイン）

「UDとロハスとの関連は？」など、参加者からも多数の質問があり、盛り上がりの内に閉講となりました。



UDパートナー養成講座 感想

昨年10～11月に開催されたUDパートナー養成講座に参加、修了証を授与された方々から3名の方に感想をいただきました。



UDとバリアフリーは同義語と思っていた私がパートナー養成講座を受け「目から鱗」。ステップアップセミナーも受講したくなり申し込みました。予想通り、それ以上に充実感を得ました。特に色覚のバリアフリーなど考えてもいなかったこと。今までジコチュウではないなと思っていたけど、やっぱり自分の周りきり見えていなかった事に気づかされました。これからは、UDの社会化の為に小さな活動からできればと考えています。

高齢社会を良くする女性の会 / 郡山市 吉成夏子さん

6年前にUDを知り、友人と話す事がありましたが、浅学のため、トンチンカンでした。幸い私は、UD講座を受講することで、UDの向上を目指す理念・理想をより具体的に実践して次世代を担う子どもたちにどう教えて伝えていくのか考えさせられました。また、街で独自の景観として、歩道の照明、ベンチの設置やキャブシステム等、UDに関連している事にお陰様で気づく事ができました。一つひとつの構想を公的機関と民間、団体、企業が手を携えて着実に活発な活動を展開していけたら良いと思います

21世紀女性の会 / 郡山市 村田三重子さん

UDの理念「すべての人が安全、安心、快適に暮らせる社会づくり」に参加できたことは有意義な時間でした。今まではUD活動を漠然と一歩外から見ていましたが、健常者、障がい者の区別無く社会生活する人の可能性を引き出す為には、大切な考え方だと感じました。しかし、今回の養成講座はUD住宅、スロープなどハード面が多い講座でしたが、ハード面を作った人は満足できてもソフト面のバランスを考えないと、生活する人が本当に必要としている「安全・安心・快適に暮らせる社会づくり」が無いように感じます。今後もUDの認知度を上げる活動は大切だと思います。

コーチングインストラクター / 鏡石町 五十嵐三雄さん

福島県立二本松工業高等学校 情報システム科 情報デザインコース・デザインコース



昭和 37 年開校。平成 16 年より機械システム科、情報システム科、都市システム科に学科改編されました。最近も難関の国家資格に十数名の大量合格者を出すなど、栗村知校長のもと「松工マイスターになろう」と挑戦の姿勢で技術者としての勉学に励んでいます。
〒 964-0937 二本松市 榎戸 1-58-2
TEL 0243-23-0960 FAX 0243-22-7388
<http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp>

ものづくりを通じて 実社会に通用する人材を目指す 松工マイスターたち

『ふくしまユニバーサルデザインフェア』において、木製車椅子製作で優秀賞を受賞している情報システム科情報デザインコース・デザインコースのみなさんは、ものづくりへの情熱が旺盛です。

各課題制作をされている生徒さんは、「難しかったけど、人の役にたてるモノを創る事に、やりがいを感じる」と話します。また、指導されている先生方は「課題に取り組む生徒の発想や、アイデアに刺激されることがある」と話し、モノ作りを通してお互いにより循環があることを垣間見ることができます。



指導されている、左から塚田先生、紺野先生、安斉先生、羽田先生、黒沢先生、渡辺先生

車椅子以外にも様々なものづくりにチャレンジしています

木製車椅子制作のきっかけは、5年前にさかのぼります。当時、学科編成改変以前で、情報システム科の前身である工業デザイン科時代に、安斉貞夫先生指導の課題制作で木製の椅子にキャスターをつけただけだったものを、次年度の学生が引き継ぎ、養護学校の視察がきっかけになり現在の車椅子タイプにしたのでした。



リクライニングが可能な最新型

ユニバーサルデザインの授業や視察などを行うことで、車椅子のデザインは、さらに進化してきました。スライド式の物入れがついたり、テーブルがつくなど、使いやすさが増しています。最新型には、背もたれにリクライニング機能がつきました。学生たちのアイデアによって、今後もよりよいデザインが生み出されていくことでしょう。栗村校長先生は、「この車椅子の製品化を目標としている」と話していました。



毎年、テーマが引き継がれて熟成されていきます

第6回郡山市男女共同参画フェスティバル開催！



UDにも造詣が深い落合恵子氏を講演会講師に迎え、「第6回郡山市男女共同参画フェスティバル」が開催されます。

講演会のほか「ひろげよう！男女がともに作る社会」をテーマに各種展示・イベント等が開催されます。ぜひ足をお運びください。

- 日時：1月26日(土)・27日(日)
- 会場：郡山市民文化センター
- 料金：入場無料
- ☎ 024-924-0900(さんかくプラザ)

●プログラム：

- 26日(土) 12:45～ オープニングセレモニー
 - 合唱(郡山市立郡山第一中学校合唱部)
 - 郡山市男女共同参画推進事業者表彰
 - 中学生作文コンクール優秀者表彰
- 13:00～ 講演会
「『わたし』を生きる・・・
それぞれが自分色に輝くとき」
講師 落合恵子氏(作家)
- 27日(日) 13:00～ パネルディスカッション
「子供たちを取り巻くメディアの現状」